

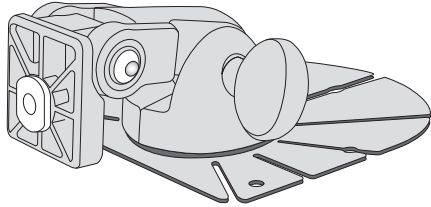
KEIYO モニタースタンド MST-0024A

取付/取扱説明書

取り付けや接続、その他不明な点は下記製造元にご相談ください。
製造元 KEIYO
 株式会社 慶洋エンジニアリング
 〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル
 TEL: 03-3431-8151 (代表)
 TEL: 03-3431-8194 (サービス)
 受付時間 10:00~17:00 月曜日~金曜日
 (祝祭日および当社休日を除く)

構成部品

スタンド本体 1個



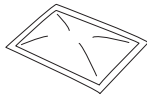
六角レンチ 1本



タッピングビス 5本



クリーナー 1枚



モニターの取り付け位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。ダッシュボード上に機器(オンダッシュモニター、ポータブルカーナビゲーション等)を取り付ける際は、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準

■対象車種

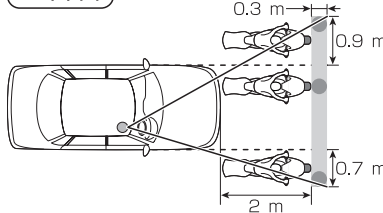
- ① 専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
- ② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■基準概要

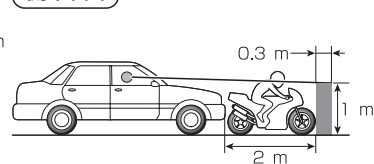
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等の用いず直接視認できること。

※ 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



安全上のご注意

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

- この取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

■ 注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、「**警告**」、「**注意**」の2つに区分しています。



警告:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容であることを示しています。



注意:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容であることを示しています。

■ お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。



記号は**してはいけないこと**であることを告げるものです。
 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。



記号は**しなければならないこと**であることを告げるものです。
 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。



警告



走行中にディスプレイユニットの角度調整をしないでください。走行中に調整すると不注意となり事故の原因となります。調整は安全な場所に停車して行ってください。



運転の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、及び同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。



取り付けには車輛の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けること事故の原因となります。



年少者補助乗車装置(ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシート)の前には取り付けしないでください。急ブレーキ、カーブ等で事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しないでください。脱落して事故やけがの原因となります。



変形したり割れたりした場合は、使用し続けしないでください。脱落して事故やけがの原因となります。



ネジ等の小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。あやまって飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われる時は、すぐに医師にご相談ください。



車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けしてください。車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。



フロントガラスには取り付けしないでください。視界を妨げ、交通事故の原因となります。また、道路運送車両の保安基準に適合せず車検に通らなかったり、整備不良の対象になります。



熱線やアンテナが付いているサイドガラスやリアガラスには取り付けない。ショートや断線による事故や感電、火災の原因となります。



注意



指定されているユニット以外には接続しないでください。火災や事故の原因となることがあります。



スタンドベースやディスプレイユニットをエアバックのカバー部分及び作動時の妨げになる場所には取り付けしないでください。エアバックが誤動作する原因や交通事故の原因となります。



天気の良い日中に取り付けてください。雨、霧など湿度が多い時は両面テープの接着力が低下してはすれて事故やけがの原因となります。(時々点検してください。)



スタンドベースやアンテナを取り付け後は、48時間以上放置してください。取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれたり故障の原因となります。



スタンドベース取り付け後は必ず付属のタッピングネジで固定してください。取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故やけがの原因となります。(時々点検してください。)



低温時は両面テープの接着力が低下しますので、取り付け時は車内を常温に暖めてから作業を行ってください。取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故やけがの原因となります。(時々点検してください。)



説明書にしたがって、正しく配線してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



スタンドベースをダッシュボード等の樹脂製以外の場所には取り付けしないでください。本革、木製パネル、布ばり等の場所に取り付けると表面を傷める事があります。

お願い

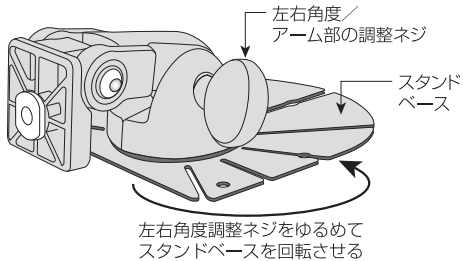
本機は消耗品です。長期間使用すると、次のような状態になる場合があります。

- 両面テープの粘着力やタッピングネジの締結力が弱くなる。
- 本体が割れたり変形したりする。

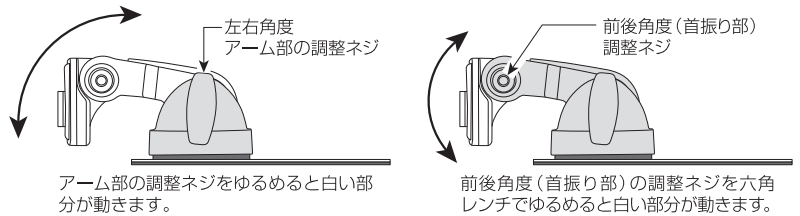
このような状態になったら、早めに交換してください。重たいものを取り付けると、このような状態が発生しやすくなります。

スタンドアームの角度調整

1. スタンドアームの角度調整



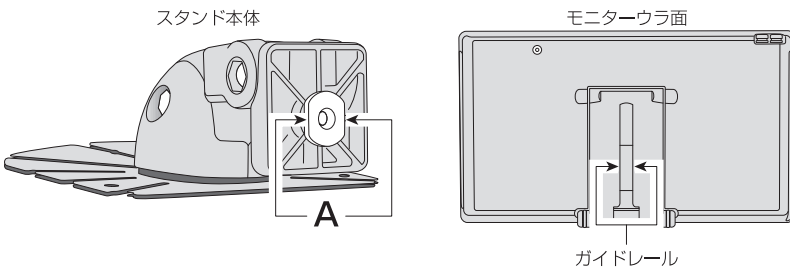
2. 角度調整範囲図



スタンド本体及びモニターを取り付け

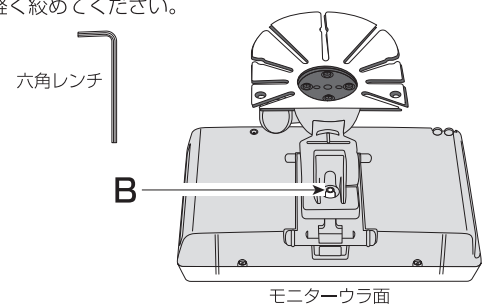
1. モニターの取り付け

スタンド本体A部とモニターウラ面にあるガイドレールを合わせます。



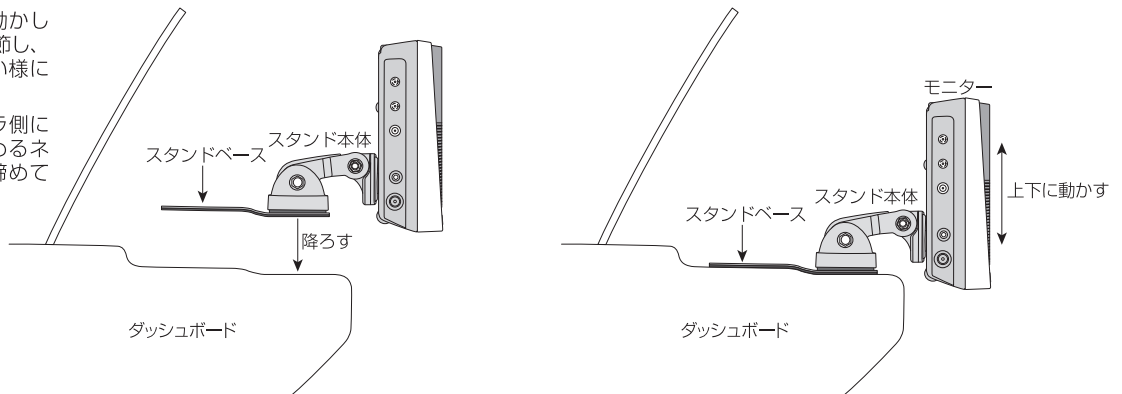
2. モニターの取り付け

モニターウラ面のB部のネジを六角レンチを使用して軽く絞めてください。



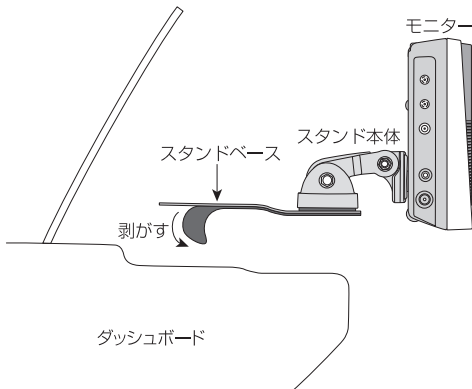
3. モニターの位置調整

1. ダッシュボードの形状にあわせてスタンドベースを曲げてください。このとき、ウラ面にある両面テープのはくり紙は剥がさないでください。
2. モニターを上下に動かして見やすい位置に調節し、モニターが動かない様にしてください。
3. スタンドベースウラ側にあるモニターを止めるネジを六角レンチで締めてください。



4. スタンドベースを貼り付ける

スタンドベースのウラ面にある両面テープのはくり紙を剥がし、ダッシュボードの上にとり付けます。



5. スタンドベースを貼り付ける

貼り付けた後付属のネジで固定してください。

※スタンドベースのすき間に付属のタッピングネジを取り付ける事により、より強力に取り付けが出来ます。(プラスドライバーを使用します。)

※タッピングネジを使用して取り付ける場合、取り付け部(車輻側)にビス穴が開いてしまいますので、予めご了承ください。

